



Modeling Guide

by SparxSystems Japan

Enterprise Architect 日本語版

モデリング操作ガイド(コンポーネント図編)

(2012/3/7 最終更新)



1. はじめに

このモデリング操作ガイドでは、個別の図や機能について、Enterprise Architect の機能の紹介や操作方法について説明します。モデリング操作ガイドは、以下のように内容ごとに分かれています。

- ・ 共通操作編
- ・ クラス図・オブジェクト図編
- ・ ユースケース編
- ・ アクティビティ図編
- ・ シーケンス図・コミュニケーション図編
- ・ ステートマシン図編
- ・ コンポーネント図編
- ・ データベースモデリング編

本ドキュメントをご覧になる前に、「モデリング操作ガイド 共通操作編」をご覧ください。共通操作編で紹介されている内容は省略いたします。

なお、このドキュメントでは、UML の仕様・文法・記述方法についての説明はすべて省略しています。別途 UML について紹介している書籍などをご利用ください。

また、本ドキュメントは、ドキュメント執筆時の最新版を利用して作成されています。そのため、それ以降のバージョンで画面構成や機能が多少変更になっている可能性もあります。相違点や不明な点がございましたら、サポート担当 support@sparxsystems.jp にご連絡ください。

本ドキュメントでの**赤色太字**は、画面内から選択するメニュー項目やボタンなどや、画面内に表示されている文字・項目を示しています。**青色太字**は、ショートカットキーを示します。

2. コンポーネント図

コンポーネント図は、対象のシステムに含まれるコンポーネント(部品)を明示し、またコンポーネント間の関係について定義するための図です。

基本的にはコンポーネント要素を配置し、依存関係などを利用して、コンポーネント間の関係を表現することで作成することができます。

UML において、ユースケース図やクラス図に比較すると、コンポーネント図は利用される機会が少ないかもしれません。

このドキュメントでは、このコンポーネント図に固有のいくつかの操作について説明します。要素をダイアグラム内に配置する操作や要素間を接続する操作は、「モデリング操作ガイド 共通操作編」をご覧ください。

3. コンポーネント図でのモデリング

この章では、コンポーネント図固有のモデリングの操作について紹介いたします。

3.1. インターフェースとの依存関係

コンポーネント図でよく使われる表記方法として、図 1 のようにコンポーネントのインターフェースを明示して、その依存関係を明確にする方法があります。この表現を実現するには、2通りの方法があります。

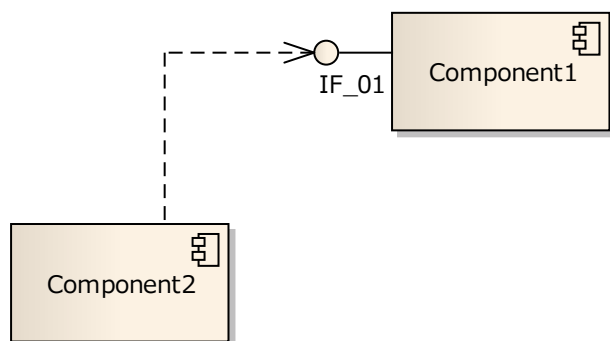


図 1

簡単な方法としては、インターフェースをツールボックスより作成し、「**実現**」の関係で結ぶ方法があります。このとき、コンポーネント側からインターフェース側に実現の関係を作成すると、図 2 のように実線で表示されますので、インターフェースの小円の大きさや位置を調整すると良いでしょう。

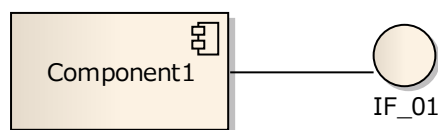


図 2

もうひとつの方法として、ツールボックスから「**公開インターフェース**」を選択し、対象のコンポーネントにドロップしてください。提供インターフェースか要求インターフェースのいずれかを選択後に表示されるインターフェース要素は自由な位置に移動することができます。

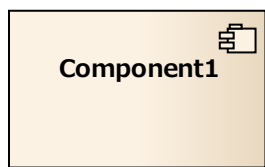
4. コンポーネント図での便利なテクニック・機能

4.1. パッケージコンポーネントの利用

Enterprise Architect のコンポーネント要素は、単独の要素であり、他の要素を含むような目的では利用できません。しかし、実際には、複数のクラスを含むものとしてコンポーネントを利用するようなことがあるかと思えます。

このような場合の独自要素として、「パッケージコンポーネント」要素があります。この

要素は、パッケージ要素の特徴とコンポーネント要素の特徴(外見)を併せ持つ要素です。ツールボックスから配置することができます。



この要素は基本的にはパッケージとして位置づけられますので、ソースコード生成時には名前空間を示すものとして利用できます。そのため、パッケージコンポーネント要素内にクラス要素を含めるなど、パッケージとして利用できます。

一方で、ダイアグラム上ではコンポーネント要素と同じように動作しますので、コンポーネント図の作成時にも活用することができます。

5. コンポーネント図に関連する設定

コンポーネント図に固有の設定項目は特にありません。

6. コンポーネント図での便利なアドイン

スパークスシステムズ ジャパンから無料で提供されているアドインのうち、コンポーネント図で便利なアドインは特にありませんが、全ての図で共通の役立つアドインが数多くあります。

アドインの説明・ダウンロードについては以下のページをご覧ください。

<https://www.sparxsystems.jp/products/EA/tech/Addins.htm>

○ 改版履歴

2009/9/1 初版(過去のチュートリアルを再構成し、加筆)

2012/3/7 パッケージコンポーネント要素の説明を追加。